

小学校
校内研修

よりよい授業をめざして

大分県教育庁別府教育事務所

これまでの社会はSociety 4.0

Society 5.0とは？

狩猟社会を
「バージョン1.0」
農耕社会（同2.0）
工業社会（同3.0）
情報社会（同4.0）
に続く、次の社会

新たな社会 “Society 5.0”

5.0



1.0
Society 1.0 狩猟



2.0
Society 2.0 農耕



Society 3.0 工業
3.0

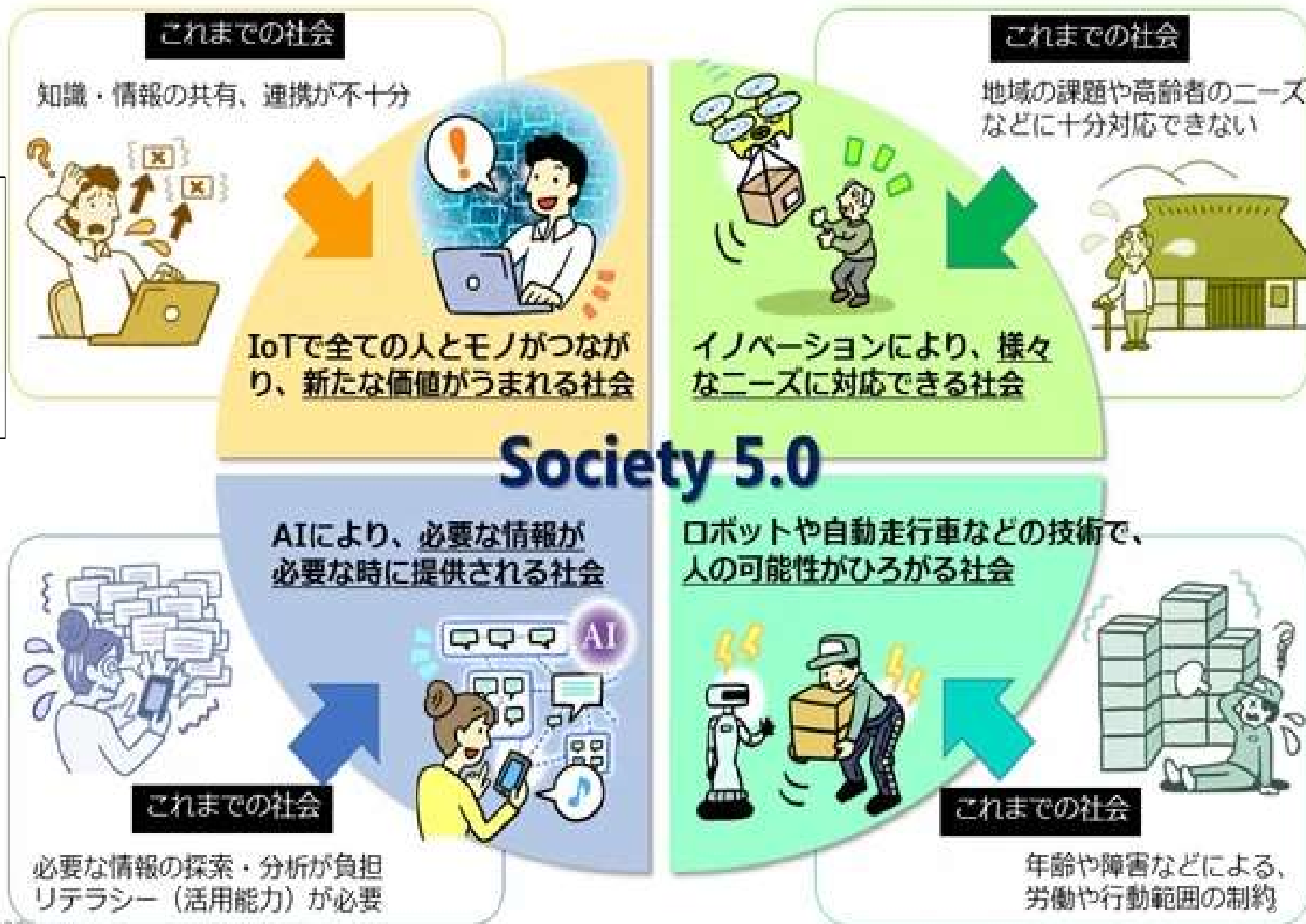
4.0



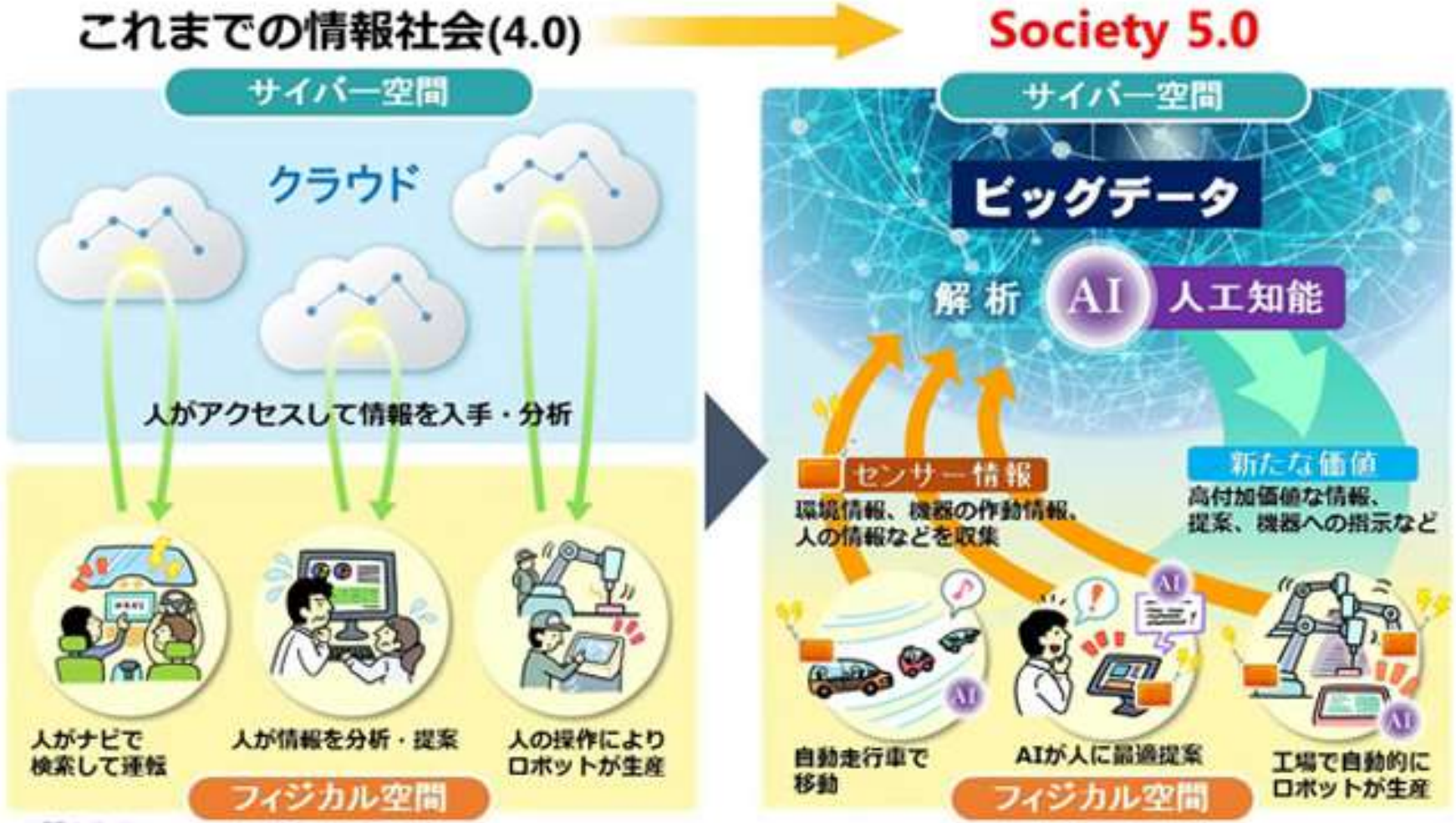
Society 4.0 情報

〔内閣府作成〕

Society
5.0て
なに？



何が変わるのか？
どれくらいのスピードなのか？



【内閣府作成】

こんな社会が待っている、ではなく創造する



経済発展

- エネルギーの需要増加
- 食料の需要増加
- 寿命延伸、高齢化
- 国際的な競争の激化
- 富の集中や地域間の不平等

社会的課題の解決

- 温室効果ガス（GHG）排出削減
- 食料の増産やロスの削減
- 社会コストの抑制
- 持続可能な産業化
- 富の再配分や地域間の格差是正

IoT、ロボット、AI等の先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、格差なく、多様なニーズにきめ細かく対応したモノやサービスを提供

「Society 5.0」へ

経済発展と社会的課題の解決を両立

国連の「持続可能な開発目標」
(Sustainable Development Goals :
SDGs
の達成へ

SDGs

の達成へ

一人一人の人間が中心となる社会

1960年代以降の「教師等」を描いたドラマから

理想の？

愛と
情熱

「力」と
「力」

優しさ
寄り添
い

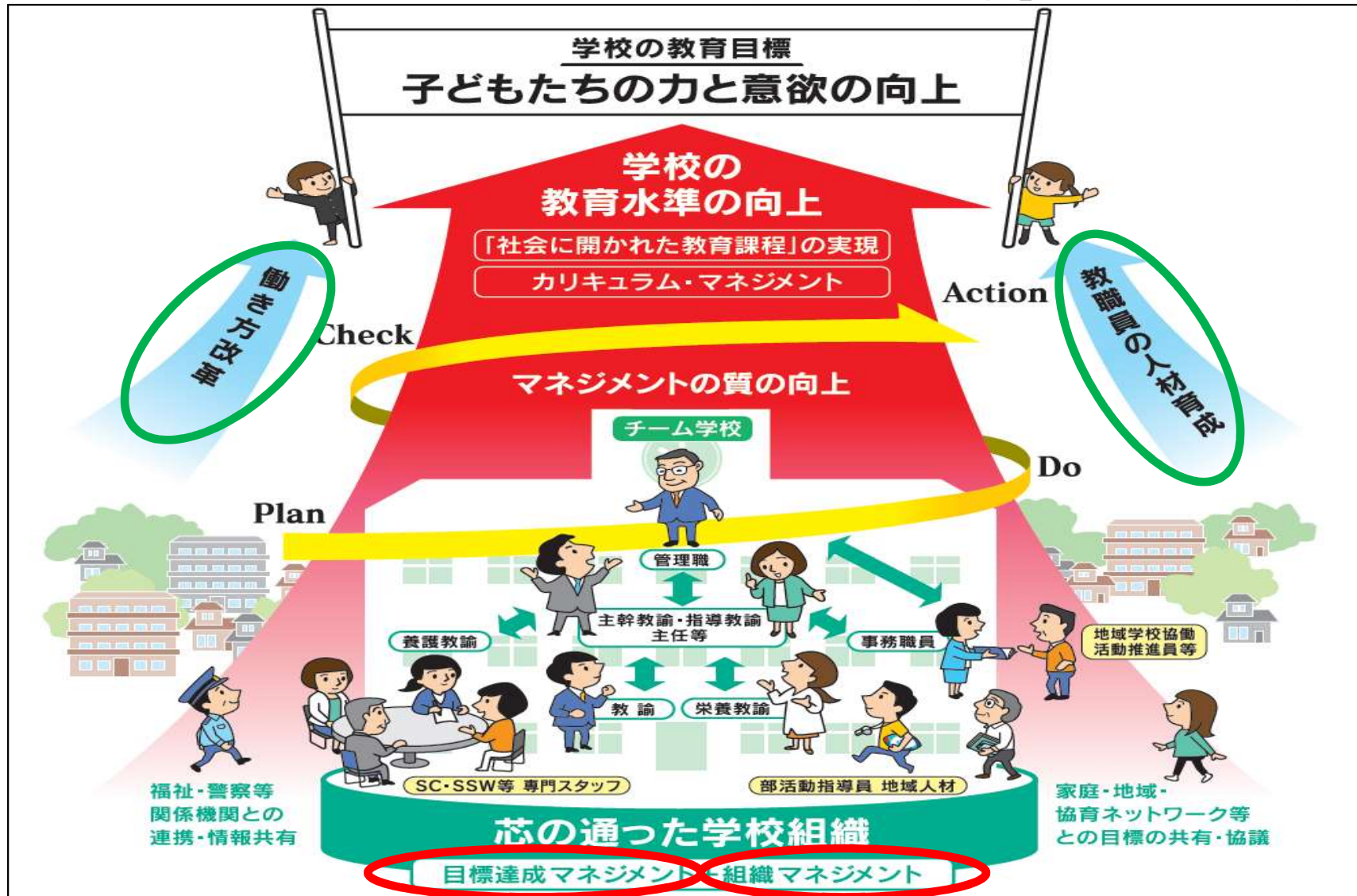
あきらめ、崩
壊、単なる商
品？

ここ最近、学校を取り巻く社会と教育環境の劇的な？変容には、約50年（半世紀）を要した

たったの

児童・生徒がこれから生きていく社会でどんな力（生きる力）が必要なのでしょうか？

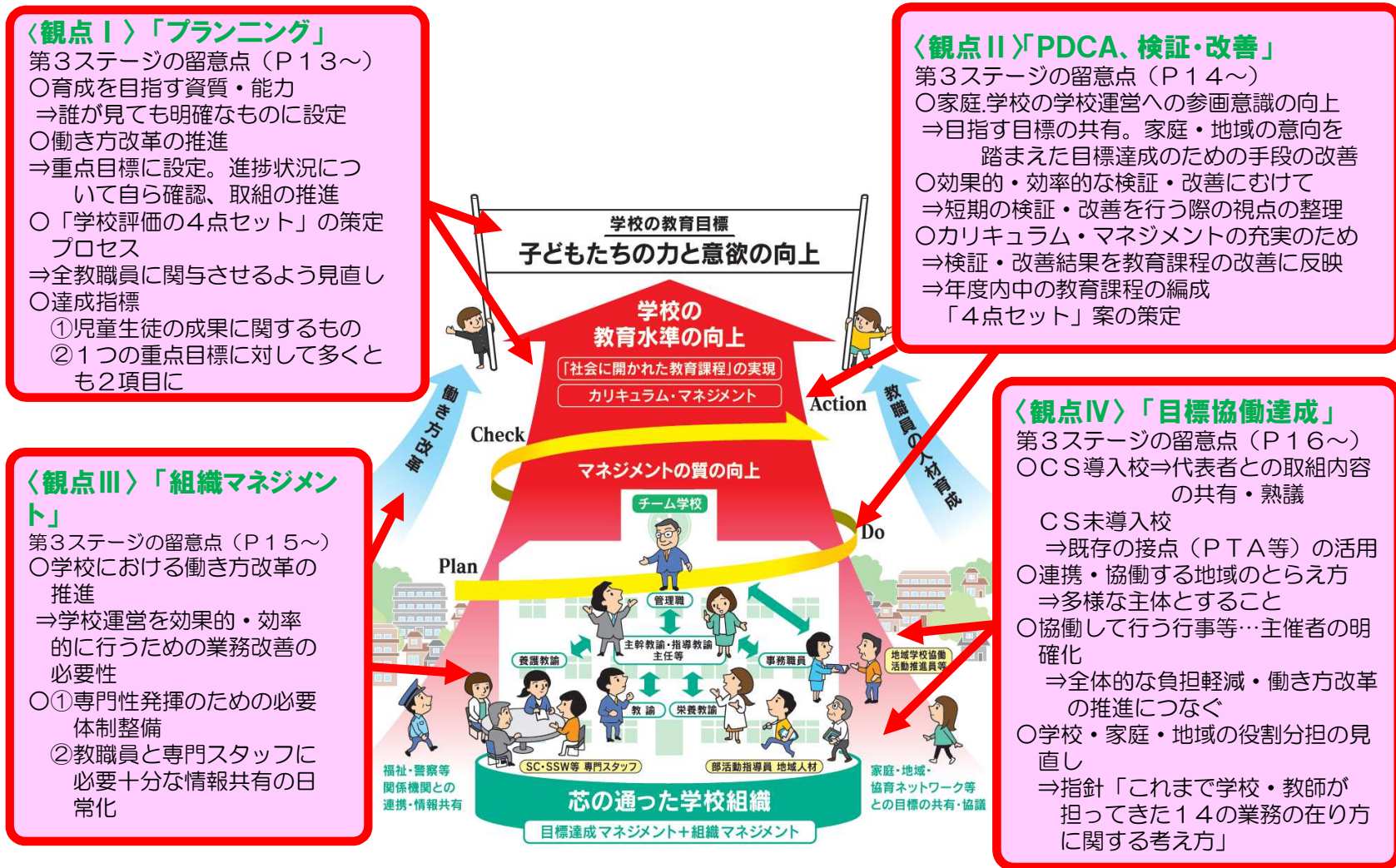
「芯の通った学校組織」推進プラン第3ステージ 「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準の向上



第3ステージの方向性 学校における働き方改革 × 地域とともにある学校

「芯の通った学校組織」推進プラン第3ステージ ポイントと留意すべき事項

「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準の向上



<観点I>「プランニング」
 第3ステージの留意点 (P 13～)
 ○育成を目指す資質・能力
 ⇒誰が見ても明確なものに設定
 ○働き方改革の推進
 ⇒重点目標に設定。進捗状況について自ら確認、取組の推進
 ○「学校評価の4点セット」の策定プロセス
 ⇒全教職員に関与させるよう見直し
 ○達成指標
 ①児童生徒の成果に関するもの
 ②1つの重点目標に対して多くとも2項目に

<観点II>「PDCA、検証・改善」
 第3ステージの留意点 (P 14～)
 ○家庭・学校の学校運営への参画意識の向上
 ⇒目指す目標の共有。家庭・地域の意向を踏まえた目標達成のための手段の改善
 ○効果的・効率的な検証・改善にむけて
 ⇒短期の検証・改善を行う際の視点の整理
 ○カリキュラム・マネジメントの充実のため
 ⇒検証・改善結果を教育課程の改善に反映
 ⇒年度内中の教育課程の編成
 「4点セット」案の策定

<観点III>「組織マネジメント」
 第3ステージの留意点 (P 15～)
 ○学校における働き方改革の推進
 ⇒学校運営を効果的・効率的に行うための業務改善の必要性
 ○①専門性発揮のための必要体制整備
 ②教職員と専門スタッフに必要な情報共有の日常化

<観点IV>「目標協働達成」
 第3ステージの留意点 (P 16～)
 ○CS導入校⇒代表者との取組内容の共有・熟議
 CS未導入校
 ⇒既存の接点 (PTA等) の活用
 ○連携・協働する地域のとらえ方
 ⇒多様な主体とすること
 ○協働して行う行事等…主催者の明確化
 ⇒全体的な負担軽減・働き方改革の推進につなぐ
 ○学校・家庭・地域の役割分担の見直し
 ⇒指針「これまで学校・教師が担ってきた14の業務の在り方に関する考え方」

第3ステージの方向性 学校における働き方改革 × 地域とともにある学校

ポイント整理すると・・・

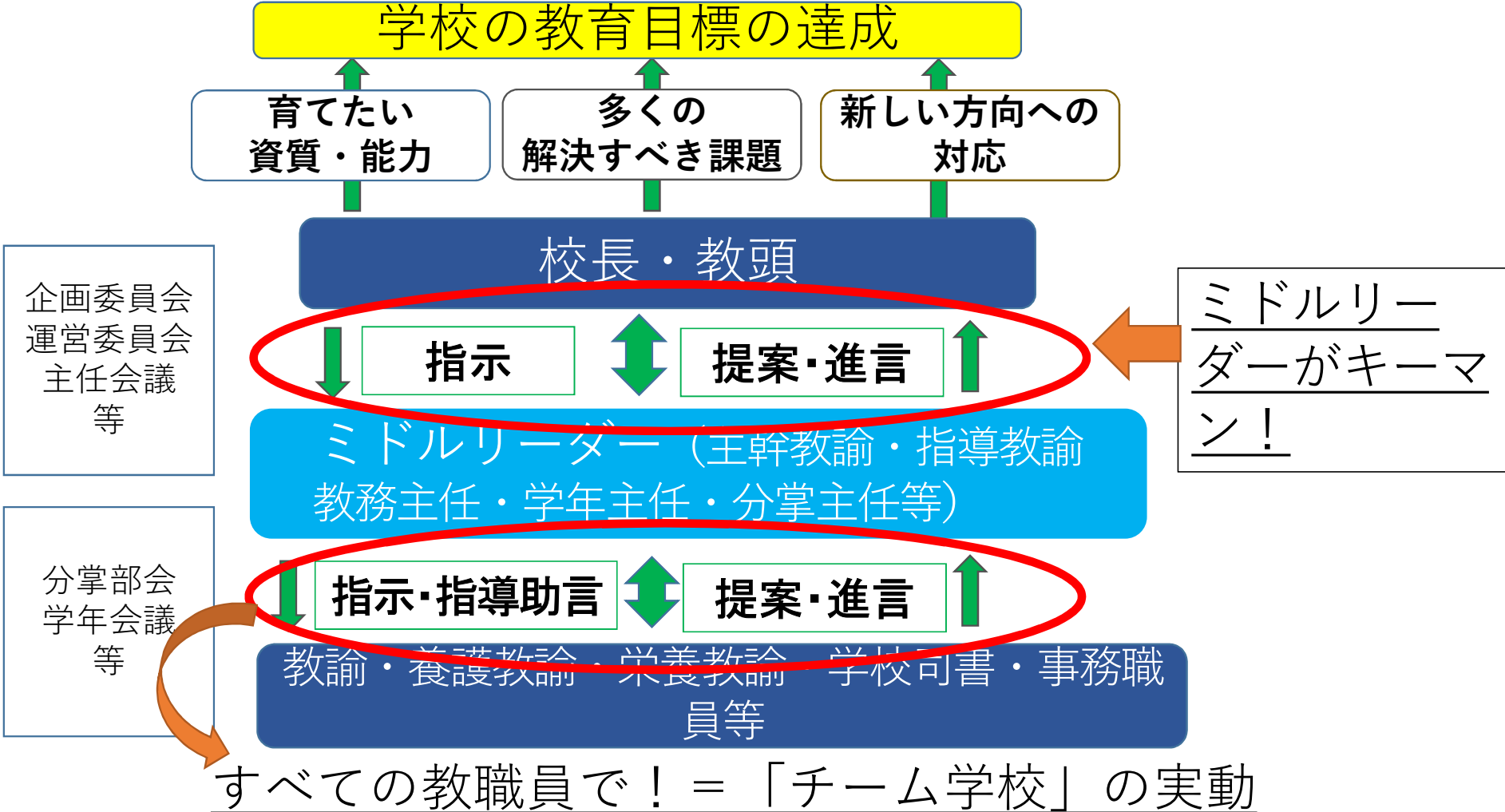
POINT☞ 学校マネジメントの深化 (カリキュラム・マネジメントの充実)

POINT☞ 「チーム学校」の取組を継続・発展

POINT☞ 学校における働き方改革の推進

POINT☞ 「地域とともにある学校」への転換 (目標協働達成)

「芯の通った学校組織」とは



小学校学習指導要領の本格実施で求められること

まず、「学校の教育目標」の評価・見直しをすること

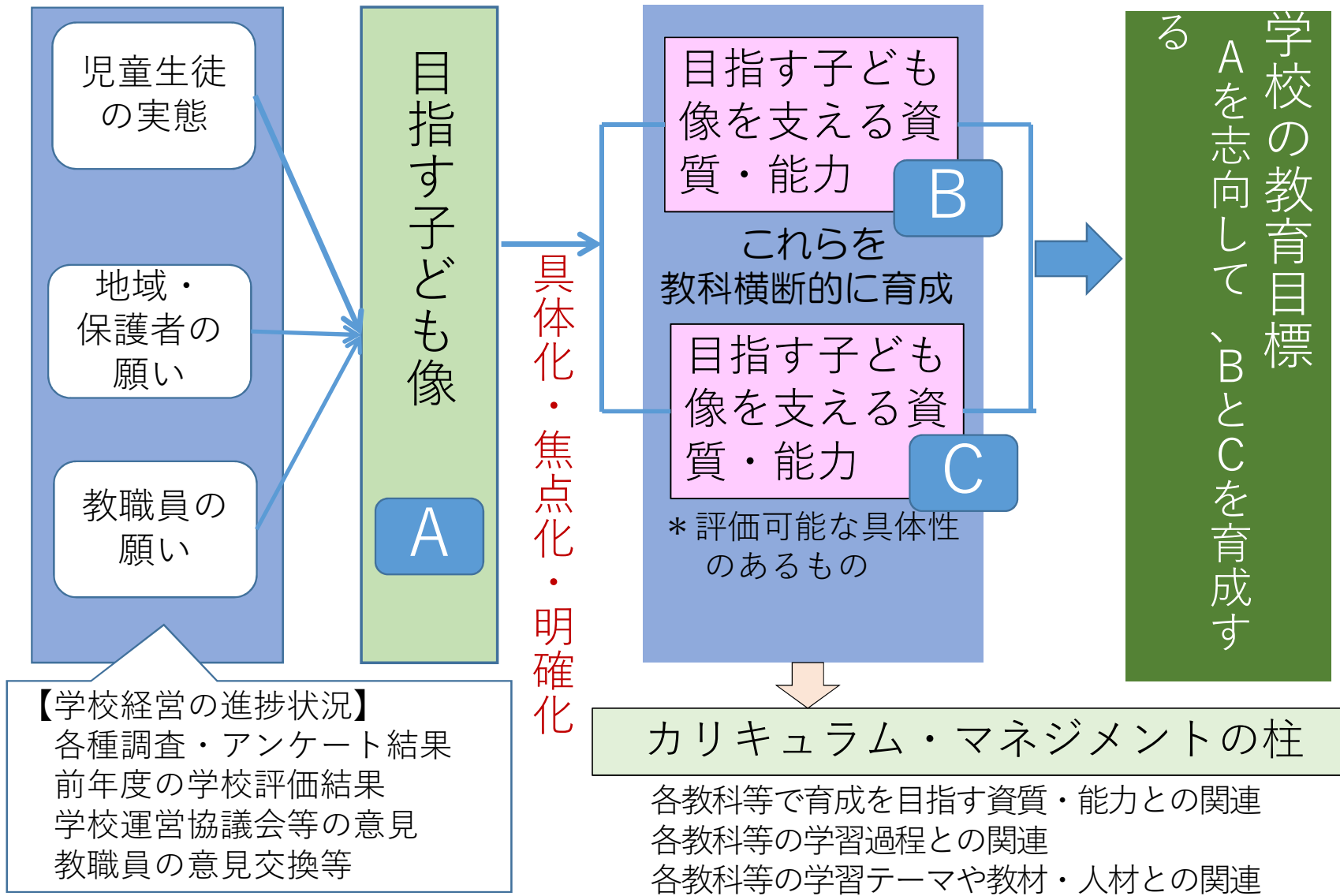
※学校の教育目標を設定する際のポイント（学習指導要領解説 総則）

- 1 法律及び学習指導要領に定められた目的や目標を前提とするものであること
- 2 教育委員会の規則、方針等に従っていること
- 3 学校として育成を目指す資質・能力が明確であること
- 4 学校や地域の実態に即したものであること
- 5 教育的価値が高く、継続的な実践が可能なものであること
- 6 評価が可能な具体性を有すること

学校評価の4点セットとの連動

カリキュラム・マネジメントの柱

学校の教育目標の見つめ直しのイメージ



〇〇小学校 学校の教育目標から学習指導案へ“ブレイクダウン”

目指す子ども像

- 〇生きて働く「知識・技能」の習得
 - ◇基礎的・基本的な学力が身についた子ども
 - ◇自分も友だちも大切に子ども
 - ◇進んで運動に取り組む子ども
- 〇未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
 - ◇自分の考えを持ち、友だちの話をよく聴き、協働して学ぶ子ども
 - ◇お互いの違いを認め、支え合って課題を解決できる子ども
 - ◇めあてを持って運動に取り組み、目標に向かって努力する子ども
- 〇学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養
 - ◇学ぶことの楽しさを知り、主体的に学習に取り組む子ども
 - ◇自分の感情や行動を統制し、よりよい生活や人間関係を自主的に創る子ども
 - ◇楽しく運動に取り組み、運動が好きな子ども

教職員の願い 地域・保護者の願い 児童生徒の実態

育成を目指す資質能力の3本柱に分けて

言語能力
情報活用能力
問題発見・解決能力

これらを
教科横断的に育成
*評価可能な具体性のあるもの

学校の教育目標
ふるさと〇〇に学び、協働して
未来を拓く子どもの育成

このままでは
絞り込むのが難しい

(別紙2)

令和2年度 学校評価の4点セット [1学期]

学校名

【学校の教育目標】 ふるさと に学び、協働して未来を拓く子どもの育成 【言語能力】

「学校評価の4点セット」

重点目標	担当	達成指標	分野	重点的取組	取組指標	取組状況の評価		改善点
						1学期	1学期	
確かな学力の育成	学習部長	<input checked="" type="checkbox"/> 学力調査 ・全学年が全国平均正答率をこえる <input checked="" type="checkbox"/> 単元末テスト ・80点以上の児童70%以上 ・50点未満の児童15%以下	学校	<input checked="" type="checkbox"/> 「聴く」「伝える」を意識した学び合いの授業	<input checked="" type="checkbox"/> 毎時間、自己決定の場を位置づける <input checked="" type="checkbox"/> 毎時間、「努力を要する状況の子ども」に手立てを講じる			
			家庭	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭学習の習慣化	<input checked="" type="checkbox"/> 「家庭学習の手引き」にそって子どもを見守る			
			地域	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の方による支援	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の方が、GTとしてふるさと別府を伝			
いじめ・不登校の解消	生活部長・児童支援部長	<input checked="" type="checkbox"/> いじめの解消率80%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 不登校児童の出席率2.5%以内	学校	<input checked="" type="checkbox"/> 円滑な人とのかかわり方の促進 <input checked="" type="checkbox"/> あったかハート123の実行	<input checked="" type="checkbox"/> 担任が、じんけんタイムを活用し、SSTを毎月1回実施する <input checked="" type="checkbox"/> 担任が、必ずあったかハート123を実行する			
			家庭	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭でのあいさつ運動	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自分から挨拶できたときに褒める			
			地域	<input checked="" type="checkbox"/> 登下校時の見守り	<input checked="" type="checkbox"/> 登下校時、出会った子どもに挨拶する			
体力の向上	生活部長	<input checked="" type="checkbox"/> 子どものアンケート調査 ・「運動が好き」の肯定率80%以上 ・「運動に一生懸命に取り組んだ」の肯定率90%以上	学校	<input checked="" type="checkbox"/> 体育授業の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 「50m走」の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業中、実際に運動する時間を30分以上確保する <input checked="" type="checkbox"/> 始業前、中休みの「50m走」に体育係を中心に全員で取り組ませる			
			家庭	<input checked="" type="checkbox"/> 「早寝・早起き・朝ごはん」の実行	<input checked="" type="checkbox"/> OPTAが、「早寝・早起き・朝ごはん」の取組を推進する			
			地域	<input checked="" type="checkbox"/> 学校・家庭・地域で協働した防災教育	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の方が、子どもの安全を守る取組を行う			
【子どもと向き合う時間の確保に向けて】								
主幹教諭	<input checked="" type="checkbox"/> 教師アンケートで「子どもと向き合う時間が増えた」と回答する教職員80%以上	学校	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的な会議	<input checked="" type="checkbox"/> すべての会議で目的と終了時刻を設定する <input checked="" type="checkbox"/> 出席者を精選し、資料は必要最小限とする				

取り出します

※評価(S:100%超過 A:80%以上～100%以下 B:60%以上～80%未満 C:60%未満)

【学校の教育目標】

ふるさと〇〇に学び、協働して未来を拓く子どもの育成 **【言語能力】**

重点目標	担当	資質・能力			達成指標	分担	重点的取組	取組	1学期	
		知識・技能	思考力・判断力・問題解決力	学びに向かう力・人間性						
確かな学力の育成	学習部長		○		学力調査 ・全学年が全国平均正答率をこえる ○単元末テスト ・80点以上の児童70%以上 ・50点未満の児童15%以下	学校 ○「聴く」「伝える」を意識した学び合いの授業 家庭 ○家庭学習の習慣化 地域 ○地域の方による支援	○毎時間、自己決定の場を位置づける ○毎時間、「努力を要する状況の子ども」に手立てを講じる ○「家庭学習の手引き」にそって子どもを見守る ○地域の方が、GTとしてふるさと別府を伝える			
		○								
		○								
				○						

「学びあい」⇒「深い学び」につながる“自分の考えを持つ”具体的なイメージは？

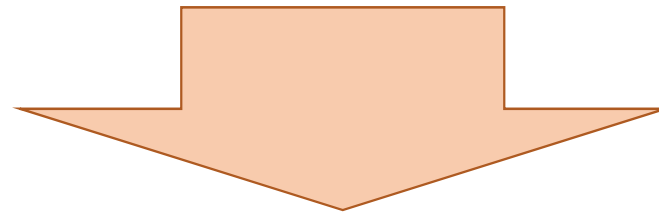
すべての授業で、どの子どももB層以上に引き上げるための“具体的な”手立ては？

基本的な生活習慣？
学習習慣？ 学習の仕方？
それとも？

子どもによる「学びの発信型」を想定？

学習指導案へ反映！！

「目指す子ども像」からブレイクダウンした
取組指標を意識した授業実践をする



“右脳”と“左脳”を
バランスよく使い
ましょう

日常的に子どもの姿から、目標に迫っていること
(または、そうではないこと) を
“感じ取ること”ができるようになる